

1 特別支援学校の進路指導

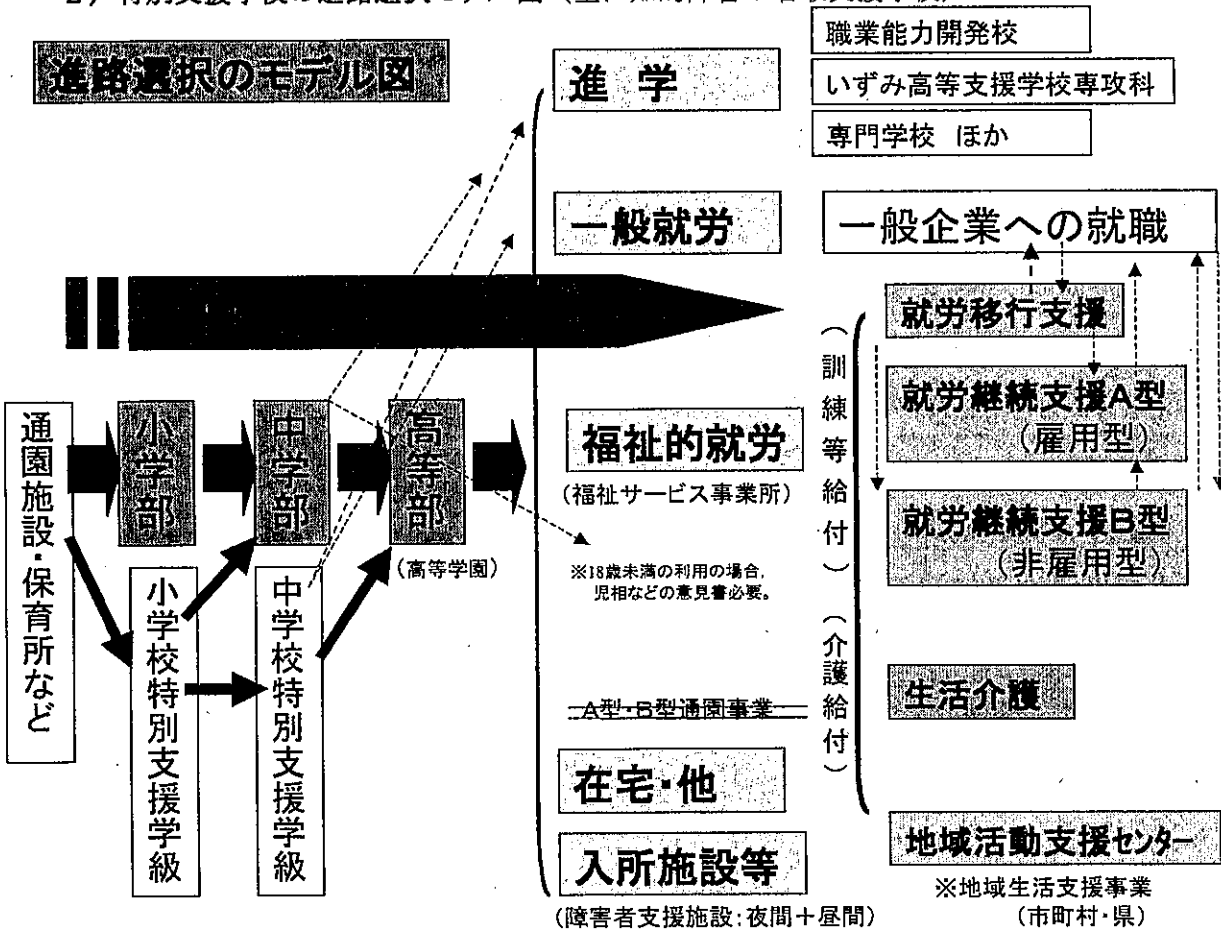
1) 宮城県内の特別支援学校

※ ( ) で障害種が限定されていない学校は、知的障害対象。

- 宮城県立視覚支援学校 (視覚障害)
- 宮城県立聴覚支援学校 (聴覚障害)
- 宮城県立拓桃支援学校 (肢体不自由：小中)
- 宮城県立西多賀支援学校 (病弱)
- 宮城県立光明支援学校
- 宮城県立小松島支援学校
- 宮城県立名取支援学校
- 宮城県立船岡支援学校 (肢体不自由)
- 宮城県立角田支援学校
- 宮城県立支援学校岩沼高等学園 (川崎キャンパスも開校)
- 宮城県立支援学校女川高等学園
- 宮城県立山元支援学校 (知的, 病弱)
- 宮城県立利府支援学校
- 宮城県立古川支援学校
- 宮城県立支援学校小牛田高等学園
- 宮城県立金成支援学校
- 宮城県立迫支援学校
- 宮城県立石巻支援学校
- 宮城県立気仙沼支援学校
- 宮城教育大学附属特別支援学校
- 仙台市立鶴谷特別支援学校
- 明和学園いずみ高等支援学校 (知的, 私立：女子のみ)

※お近くの学校をご紹介します。

2) 特別支援学校の進路選択モデル図 (主に知的障害：名取支援学校)



## 福祉サービス事業所の種類

福祉サービス事業所には主に6つの種類があります。

<p><b>生活介護</b> *障害支援区分 3以上が必要!</p>	<p>常に介護を必要とする人が安定した生活を送るために、送迎など様々な支援を受けながら物を作る活動や余暇活動などを経験します。 ※仙台市内の生活介護施設は、調整会議を実施しているため他市町からの利用はできません。</p>
<p><b>生活訓練 (自立訓練)</b> *利用期限有り</p>	<p>自立した生活を送ることができるように、一定期間(約2年)体の使い方や生活する力が付くような練習をします。</p>
<p><b>就労継続支援 B型 (非雇用型)</b></p>	<p>会社に就職することが難しい人に、仕事ができる力が身に付くような訓練をします。施設の収入により工賃が違います。基本的には自力通勤の所が多いです。 ※利用には就労アセスメントが必要です。</p>
<p><b>就労継続支援 A型 (雇用型)</b></p>	<p>会社に就職することが難しい人に、仕事ができる力が身に付くような訓練をします。その施設で仕事をする雇用契約を結び、最低賃金に基づいた工賃をいただいて働きます。このため、作業の正確性や速さが求められます。一日の就労時間が4, 5時間の所が多いです。</p>
<p><b>就労移行支援</b> *利用期限有り</p>	<p>会社に就職することを希望している人に、就職に必要な知識や能力が身に付くように、一定期間(約2年)必要な訓練をします。(一部の施設を除き、工賃はありません。)</p>
<p><b>小規模地域 活動センター</b></p>	<p>物作りや販売を通して作業や生活について教え、社会参加の訓練など地域的な支援を行う施設です。 ※市町村事業のため、在住の市民(町民)のみ利用できます。</p>

「就労困難な障害者が働き続けるために」  
『発達障害者の就労支援事例』

障害者雇用セミナー

### 本日の予定

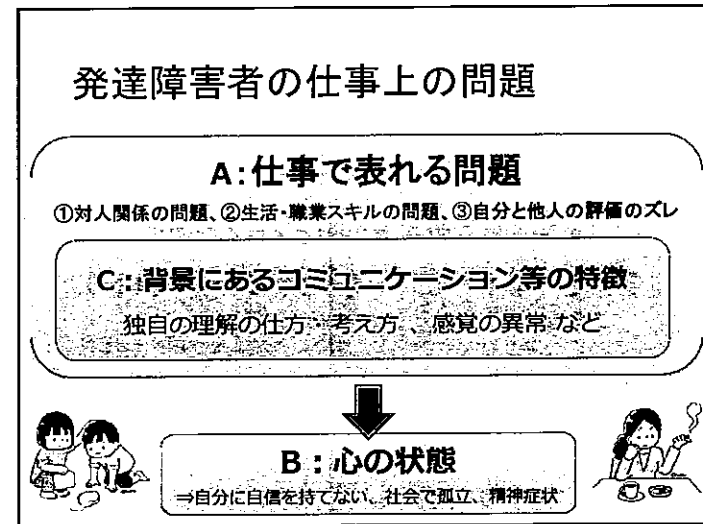
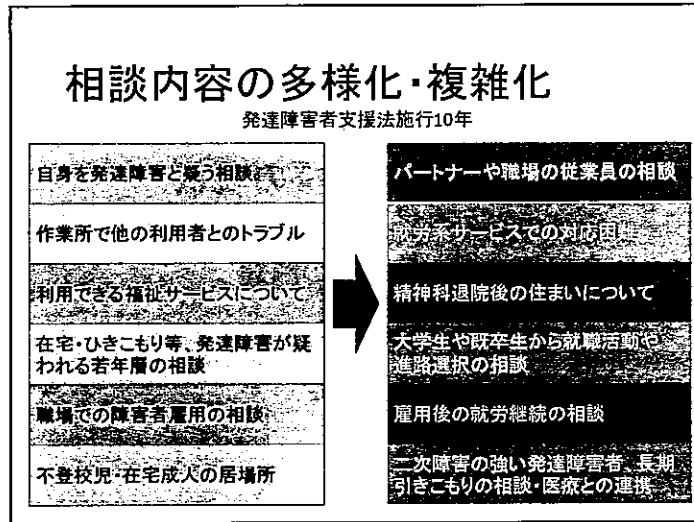
- 発達障害者相談支援の現状
  - 相談内容の多様化複雑化
  - 発達障害者の仕事上の問題
- 就労支援の事例から
  - 就労相談での目標設定
  - 自己理解支援
  - 可能性の広がり

知的遅れのない発達障害者の就労支援について、事例をご紹介します。

### 就労支援の基本プロセス

<p><b>①相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 主訴把握と初期の支援計画</li> <li>• 関係機関への紹介</li> </ul>	<p><b>④職場適応支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 職場のアセスメント</li> <li>• 障害のある人のアセスメント</li> <li>• マッチングの調整</li> <li>• ナチュラルサポートの形成</li> <li>• フォローアップのポイント確認</li> </ul>
<p><b>②評価と準備訓練</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設内作業</li> <li>• 職場体験実習</li> <li>• アセスメントの実施</li> <li>• 本人へのアセスメントの伝達</li> </ul>	<p><b>⑤職場定着支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 職場に対するフォローアップ</li> <li>• 生活面のフォローアップ</li> <li>• トラブルへの迅速な対応</li> </ul>
<p><b>③職業紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 関係機関とアセスメントの共有</li> <li>• ハローワークとの連携</li> </ul>	

## 成人相談の現状



### A: ①対人関係の問題

- 自分の興味関心を優先させてしまう
  - ・周囲の話題に同調せず、自分の用件だけ発信する
  - ・自分のタイミングで相手に話しかける
- 感情の分かち合い、想いや話題の共有が難しい
  - ・自己判断で物事を決めてしまう
  - ・本人の困っていることがつかみにくい
- 物事に厳密であいまいを嫌う、変化に弱い
  - ・時間の遅れや手順の変更に激怒する
  - ・自分のやり方に固執して相手の提案を聞き入れない

### A: ②生活・就業スキルの問題

- 生活スキルの問題
  - ・身だしなみに関心がなく整容面に課題がでる
  - ・金銭管理ができない、多額の借金をする
  - ・睡眠リズムが整わず昼夜逆転が継続している
  - ・偏食が多く、成人病のリスクが高い
- 職業スキルの問題
  - ・電話対応がごちなく一辺倒
  - ・優先順位がつけられず期日を守れない
  - ・一作業に没頭して周囲の配慮や状況に気付かない
  - ・上司の誘いをいつも自己都合で断る

### A: ③自己評価と他者評価のズレ

- 自己評価は頑張っている
  - ・やっているつもりですけど...
  - ・困っていることは特にありません
  - ・～さんより良いと思っています
- 素直に聞けない、余計なひと言が多い
  - ・質問に行ったのに上司が席にいませんでした
  - ・～さんに言われたからやりました
  - ・大学では成績優秀でした
- 自分が役に立っていると思いきくい
  - ・私の仕事は評価されていません
  - ・こんな簡単な仕事は私には向いていません
  - ・周囲から嫌われています



### B: 心の状態(自分に自信が持てない)

- ・自分が必要とされていないように感じる
- ・職場で話す相手がいない
- ・周囲から嫌われているように感じる
- ・職場でも、社会でも、安心できる居場所がない
- ・ストレスをため込んでしまい、発散する術がない
- ・障害者としての相談しかのってもらえない
- ・人としての相談にのってもらいたい

### C: 背景にある特徴

- 独自の理解の仕方・考え方
  - ・立場の転換が難しい
  - ・字義(言葉)どおりに理解する
  - ・100か0かで中間がない
  - ・相手の言葉尻に反応する
  - ・自分の手順を重んじる
- 感覚の異常(極端に敏感・鈍感)
  - ・子どもの泣き声に耐えられない
  - ・疲れを感じにくく、倒れるまで仕事をする
  - ・特定の匂いが苦手で、偏食がみられる
  - ・光に弱く外出時は常にサングラスをかける
  - ・痛み鈍感でケガに気付かない



### 就労困難事例①: 「離転職を繰り返す」

- ・A: ナオコさん(34): 大学卒業後、事務職(一般求人)に採用となる。入社数カ月で、電話取次ぎミスや同僚との対人トラブルが多く解雇。その後、ホテル業、コンビニ、飲食業と転々。
- ・B: 何とか適応しようと、気を張りながら対応するが、最終的に過食とうつにより精神科受診。
- ・C: 成育歴の経過と検査から、先天的なコミュニケーションの特性が明らかとなる。「物事に過剰に厳密である特性」が業務や対人面の支障の原因であることがわかった。

### 就労困難事例②: 「長期引きこもり」

- A: サトルさん(42): 小・中といじめによる不登校歴あり。通信制高校に通うも卒業時の就職活動に失敗。昼夜逆転の生活を送る一方で「関東の有名私大に入り、商社マンになる」と親に訴える。
- B: 同級生と顔を合わせるのを恐れ日中の外出は控えるようになり、20年以上経過。両親は衣食住を整えるなど保護的なかわりを継続。ネット上に殺害予告を書き込んだことで警察沙汰となり、行政が把握する。
- C: 行政より当センターに相談があり、母と面接すると「幼少期より一人遊びが多い」、「周囲の変化に過敏」である等のエピソードが聞かれ発達障害の疑いがあることがわかる。

## ここねっとの支援の実際

発達障害者への就労支援事例

### ここねっと成人支援プログラム

【CSE】自分らしく生活していくために必要な「自己理解」「動機付け」「生活スキル」の理解を深め、必要な課題に取り組むことができるプログラム。  
 背景: 「自己決定の機会の乏しさによる困り感の低さ」や「学卒後の就労に向けた準備性の低さ(未経験・未学習)」が大きいケースが増加傾向にある。こういったケースには面談場面でのアセスメントに限界があり、具体的な体験を通じた関わりが必要

【りふれっしゅ】「主体性」がキーワード。当事者が役割を持ち主体的に取り組むことで、新たな自分の発見ややりがいを感じることを目指すプログラム。  
 背景: 家庭や支援者を含めた保護的な環境により、自己選択・自己決定の機会が乏しく、余暇に関しても、与えられたことに受け身である当事者が多い

【トークセッション】「語る」「感じる」「つながる」がキーワード。当事者が主体的に相互交流を行い、高め合うことを目指すプログラム。  
 背景: 他者と本音で語り合う機会や、他の当事者と出会う機会がないことにより、対人関係の中で気づきを得て、成長できる実感を伴わない当事者が多い

### 支援事例: 「鈴木さん(40)引きこもり10年」

- パワーレスの状態(引きこもり、無職)
  - ・ 家以外に居場所なし、家族(母)以外に人間関係なし
- 最低限の衣食住で精いっぱい...しかし、



「フルタイムで働きたいです。」  
 「教育関係の仕事希望します。」

### 鈴木さんの目標設定

長期目標
1. 経験を活かし、予備校の教壇に立つ
2. 編集者で働き、文章を書くプロになる
3. PCを自由自在に使いこなす (Word・Excelの習得、ブラインドタッチ)
短期目標
①必ず毎日参考書を開き、問題を解く
②ハローワークで毎日検索し、すぐに応募する
③毎日PCタイピングトレーニングに励む

※当時の実際の支援計画より

↓  
本人の表明ではあるが、苦しように思えた。

### 診断直後の鈴木さんの心境

自己肯定感の低下

・腑に落ちる一方で…「本当にそうなのか？」という思い。「あなたは別の人間です」と言われたような戸惑い。「自分は何者なんだろうか…」。

自己に対する揺らぎ

自分を保つための過緊張

肯定的に自分を振り返る機会が必要では…

### 「自己理解」支援①

本人も周囲も相互に振り返れる場へ

- ◆当事者活動実行委員会
- ◆支援研究チーム

そんな働き方もありなんだ!

↓  
「多様な働き方を検討してみよう」  
「無理のない生き方をしよう」

発表に対する肯定的な評価に救われた。

### 自己理解支援②

彼の持っている力に注目...

- 過去の経験
  - ✓3年半の予備校講師経験
  - ✓文章寄稿歴
- 興味関心・才能
  - ✓根っからの読書家
  - ✓文才あり
- 人柄・特性
  - ✓毎日コツコツ
  - ✓ルール・約束を厳守


人に教える力

考え・想いを言語化する力

誰よりも誠実

**自己理解支援③**  
彼の力を必要とする機会との接点...


- ◆不登校児の学習支援
- ◆福祉センターの機関誌寄稿
- ◆発達障害研修当事者発表



↓


「同じ思いを持つ仲間の力になりたい」

**鈴木さんの可能性の広がり**



「フルタイムで働きたいです...」  
「教育関係の仕事を希望します...」

↓



「多様な働き方を検討してみよう！」  
「無理のない生き方をしよう！」  
「同じ思いを持つ仲間の力になりたい！」

まとめ

**可能性の広がり**と**社会参加**に向けて

動機づけ のために	自己理解 を深めるために	生活スキル を身に付けるために
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本人がうまく困り感を感じられるよう家庭と支援者の連携</li> <li>• 強みを発揮できる場</li> <li>• 努力を認めてくれる人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他者評価を得る機会</li> <li>• 「できたこと・難しいことに対する工夫の仕方」の振り返り</li> <li>• 人と相談しながら一緒に解決する経験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メリットを感じやすいことから取り組む</li> <li>• 本人にあった方法やペースで教えてもらう</li> </ul>

【共通のポイント】  
家族以外の人と聚がる／イメージを「体験」で補う